

関係人口創出のためのシティブランディング事業(本庄市)

【目的】

人口規模に対して高校の数が多いという特徴を活かし、転出超過である20～30歳代の人口流出を防ぐため、市内高校のOB・OGを中心とした市民や事業者等によるワーキンググループや市職員によるプロジェクトチーム等※を発足するとともに、本市の課題と魅力を整理し、関係人口の創出を図る。人生の転換期である20～30歳代に、再度、本市に関わることにより、本市への関心や愛着等を継続して持ってもらう機会とする。

【概要】

令和5年度から令和6年度の2か年で実施する当該事業では、市内高校のOB・OGを中心に、市職員や庁外関係者から参加者を募集し、プロジェクトチーム等を発足し、本市の魅力や課題の抽出を行うワークショップや外部講師による研修、イベントの開催を通じて、本市のめざす姿を示すブランドメッセージ及びシティプロモーション計画を作成する。完成した計画に基づき、“オール本庄市”で取り組むことにより、シティプロモーションの効果を高め、移住・定住の促進が図られることにより、持続可能なまちづくりにつなげる。【2か年事業の1年目】

※ プロジェクトチーム等

- ①(仮)庁内検討委員会: 部長級職員(意思決定機関として設置)
- ②(仮)庁内ワーキンググループ: 関係各課より若手職員を中心に選出
- ③(仮)庁外懇談会: 転出超過世代である市内高校のOB・OGや庁外関係者等



ワークショップ風景(イメージ)

令和5年度 (231万円)

- ・プロジェクトチーム等の発足
- ・職員向けシティプロモーション研修
- ・本庄の魅力と課題整理
- ・ブランドメッセージ(案)の作成
- ・シティプロモーション計画骨子の作成



イベント風景(参考:産業祭)

令和6年度 (567万円)

- ・プロジェクトチーム等の運営及び支援
- ・職員研修
- ・大型プロモーションイベントの開催(屋外仮設マーケット)
- ・ブランドメッセージの作成
- ・シティプロモーション計画の作成

要望額: 150万円(総事業費: 231万円) 補助率: 2/3